



第98回 イギリスの市民革命②



息子リチャード
なんだかんだで、
かなり長生きした。

1 共和政への不満と王政復古

- ・1658年、クロムウェルが死に息子が後を継ぐと、民衆の不満が爆発した。
→1660年、勢力を盛り返した長老派を中心とする議会は、フランスに亡命していたチャールズ2世を呼び戻して国王とした。



チャールズ2世
処刑されたチャールズ1世の息子。髪型がすてき。女好き。

- ◆ () (在位 1660～1685年)
 - ・1660年、ステュアート朝が復活し () となった。
 - ・しかしチャールズ2世は、カトリックに近い考えを持っており、また父や祖父と同じように絶対王政を行おうとした。
→議会は () や () を制定して対抗した。
※審査法によりイギリス国教徒以外が公職に就くことは禁止された。



ジェームズ2世
悪役のイメージが強いが、
再評価されつつある。

- ◆ () (在位 1685～1688年)
 - ・チャールズ2世の弟で、やはりカトリックと絶対王政の復活を目指した。
 - ・議会では、() と () が対立していた。
→国王の権威を重んじ、ジェントリの利益を代表するトーリ党。
→議会の権利を主張し、商工業者や非国教徒の立場を擁護するホイッグ党。

2 名誉革命

- ・1688年、ついに議会はジェームズ2世を退位させ、フランスに亡命させた。
→1689年、絶対王政を復活させないため、議会は「
王権を大幅に制限することを宣言した。



メアリ2世
ジェームズ2世の娘である。政略結婚でオランダに嫁いでいた。

- ◆ () (在位 1689～1702年)
- ◆ () (在位 1689～1694年)
 - ・ステュアート家の血をひくオランダ総督であったウィレムとメアリの夫妻は、権利の宣言を認めて、共同のイギリス王として即位した。
※無血のまま革命が成功したので、これを () という。
 - ・1689年、権利の宣言は「
→これによりイギリスでは () が確立されていった。
 - ・1694年、() を創設した。
→国債制度も整備され、イギリス資本主義の発展を促した (財政革命)。



夫妻は寛容法を制定し、プロテスタントの信教の自由も認めた。
2人の結婚は政略結婚であり、夫婦仲はよくなかったとされる。そのため子供はできなかった。

「権利の宣言」を認めるウィリアム3世とメアリ2世夫妻



アン女王
子供に次々と先立たれた。抗リン脂質抗体症候群という病気だったらしい。

- ◆ () (在位 1702~1714 年)
- ・スペイン継承戦争に連動して、1702 年に北米で () を行い、フランスに勝利した。
- ・1703 年、ポルトガルとメシュエン条約を結び、貿易を有利に進めた。
- ・1707 年、イギリス (イングランド) とスコットランドが正式に合併して、 () (グレート=ブリテン王国) が成立した。



3 議会政治のはじまり

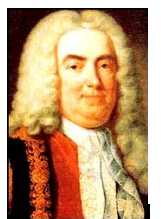
- ・1714 年、アン女王が後継者を残さず死去し、 () した。
→親戚であった () が () としてイギリス国王となった。

☆ () (1714~1917 年にウィンザー朝に改称~2020 年現在)



ジョージ1世
家庭は崩壊しており、妻や息子との関係は最悪だった。

- ◆ () (在位 1714~1727 年)
- ・しかしジョージ1世は英語を喋れず、故郷のドイツにいることが多かった。
→「 」と言われる状態となった。
- ・1721 年、議会の多数派であったホイッグ党の () が、初代首相として () を組織し、政治の責任者となった。
→議会の多数派の代表が首相として政治を行う、 () が成立した。



ウォルポール首相

初代首相にして、イギリス議会政治の基礎を固めた人物。なんと19人兄弟の5番目。絵のコレクターとしても知られる。



ジョンソン首相

第7代首相。2019年にメイ首相の後を継いで保守党党首となり、イギリス首相となった。EU 離脱を強硬に主張し、「イギリスのトランプ」と呼ばれたが、その手腕は未知数である。



イギリスの国会議事堂

テムズ川沿いにあるイギリスの国会議事堂。ここがイギリス政治の中心となっていた。右にある時計塔の愛称はビッグ=ベン、正式にはエリザベス=タワーという。



ジョージ3世
晩年は、子供たちのスキャンダルで、精神が崩壊してしまっ

- ◆ジョージ3世 (在位 1760~1820 年)
- ・1775 年、植民地で () がはじまった。
→1783 年、パリ条約で、アメリカの独立が承認された。
- ・1793 年、首相の () を中心にフランス革命へ介入した。
- ・1801 年、征服下の () を正式に併合した。
→グレートブリテンおよびアイルランド連合王国が成立した。



ナポレオン
彼が登場するのがこの時代。フランス革命とあわせて、後ほど詳しく勉強します。

